

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 尾本久男SAA委員長

◆四つのテスト 古里安幸会員

◆ご来訪ロータリアン 辻村栄蔵ガバナー補佐

◆会長挨拶

柳龍一郎会長



みなさん、こんにちは。本日は第9グループ辻村栄蔵ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー補佐訪問クラブ協議会となっております。例会前に辻村ガバナー補佐に山田幹事、私との面談をして頂きました。実は、我々二人はガバナー補佐と仕事上でのご縁があり、又ガバナー補佐の気さくなお人柄も手伝って、終始和気あいあいの雰囲気でお話しができました。クラブ活動に関しては、会員数の話から会員拡大の大変さ、少ない人数で運営されている他クラブの実情等、具体的な新しい情報を頂きました。又、女性会員の入会促進に係る苦労話も伺いました。いろんなエピソードのお話をいただきましたが、根底にあるのはコミュニケーションの大切さ、それぞれ個人の本当の思いを推し量る事の難しさについて語り合う事ができたと思います。例えば社員との繋がりをより深める為に行っていた活動が、後日本人に聞くと重荷であったとか。なんとも悩ましいお話ですが、それでも気遣い・心遣いを続けていく事の大切さを教えて頂きました。現在ガバナー補佐の会社では、御子息が社長業を引き継いでいらっしゃるそうです。ある日取引先の懇親イベントで社長が賞を貰って帰ってこれたところ会長は社長に、その賞で会社の人達に饅頭でもケーキでも買って帰って「皆で食べて」と配りなさい、とアドバイスされたそうです。美味しい物を配る事も素晴らしいと思うのですが、常に社員さんたちの顔を頭に描いている事が、価値ある事ではないかと思っただ次第です。あと一点、皆さんにお伝えしたい事がありました。面談の冒頭、「クラブの現況、活動計画書及び活動報告書」の表裏表紙をしみじみとご覧になって、本の装丁についても綺麗に作っていらっしゃいますね、とお褒めの言葉を下さいました。私達には当たり前と感じている事も、この様に言葉を頂きますと新鮮です。本日の協議会は新しい発見や、再確認の場となると思います。それでは今日も宜しくお願い致します。

◆第9グループ辻村栄蔵ガバナー補佐ご挨拶

この度、2022年～2023年度第2740地区、第9グループのガバナー補佐を拝命いたしました、長崎北東ロータリークラブの辻村栄蔵と申します。少し自己紹介させていただきますが、その前に、上村ガバナーについてご承知の方も多いと思いますが、改めて経歴などを簡単にご紹介させていただきます。上村春甫ガバナーは、佐賀県出身で、昭和22年生まれの現在75歳になられます。職歴としては久留米大学医学部を卒業されて、現在は佐賀市の医療法人春陽会上村病院の理事長をされておられる方でございます。また、佐賀市医師会の会長を長年勤められるなど、現在も医療界で数々の役職を歴任されている方でございます。ロータリー暦としては、1994年(平成6年)に佐賀RCに入会され2008年に佐賀RC会長、2013年にはガバナー補佐、2014年には4回目のポール・ハリス・フェローを歴任。2022年～23年度、2740地区のガバナーでございます。私の自己紹介としましては私は昭和51年に大手建材メーカーの長崎県総代理店として起業しまして現在に至っております。長年、ビジネスを通して利潤追求と自社の成長を願って仕事をしていた私でしたが、平成20年9月にロータリークラブの友人に誘われて、何もわからないまま軽い気持ちで入会してもらいました。入会当初は、これまで私が求めてきた世界とは、まったく違った精神とビジョンに戸惑いを感じながらも、自分でも何かお役に立てることがあるかもしれないと思いながら、クラブ活動を続けてきました。長年続けていると会長職も経験させて頂きましたし、ロータリークラブ活動について少しずつ理解を深めることが出来たようでございます。また、何よりもロータリークラブの活動を通して、多くの友人にも恵まれながら、一つの目標に向かって活動することで、自分の中で豊かな精神も培われてきた気がします。ところで、私がこれまでビジネスを通して学んだことは沢山ありますが、その基本として思うことは、まず「知ってもらうことの大切さや・理解してもらうことの大切さ・好意を得ることの大切さ」だと思いますし、このことはロータリー活動にも役立つ面があるのではないかと思います。さて、ガバナー補佐としてですが、2022-23年のRI会長に、ジェファニーEジョーンズ氏が就任され、ガバナー向けの講演で「イマジン・ロータリー」というテーマで発表されましたが、第2740地区の上村ガバナーは、ジョーンズ会長が示された、ロータリー精神と活動指針に沿って、その実現のためにご尽力され、さらに活動方針などが柳会長へと連携されて、柳会長の具体的な地区方針と重要方針にまとめられておられます。新型コロナ感染者が発生してから、今年は3年目に入りました。まだ、今年もコロナ禍ではありますが、経済的抑制や人的行動抑制も解除されましたので、ロータリー活動も次第に活発にできるのではないかと考えています。最後になりますが、私はガバナー補佐として、この1年間、上村ガバナーのご指導を仰ぎながら、私なりに頑張りたいと思っていますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

◆期首会員数 35名 ◆入会者 1名 ◆退会者 0名 ◆現在 36名

◆8/30例会出席 22名 ◆免除者出席 9名 ◆欠席 14名 ◆出席率 64.71%

◆幹事報告 山田孝二幹事

来週9/6の例会はガバナー公式訪問例会です。多数のご出席をお願いします。

◆結婚・誕生・入会祝い 8/28～9/3

【結婚祝】山田孝二さん

【誕生祝】劉 済昌さん

【入会祝】山田恭裕さん



◆委員会報告 馬場隆寿社会奉仕委員長

■マリア園毛布クリーニング奉仕

恒例のマリア園毛布クリーニング奉仕を9/14(水)に行います。今年度もコロナ禍の影響で参加人数に制限がありますので、こちらでお声掛けをさせていただきます。

◆ニコニコ箱

■第9グループ辻村栄蔵ガバナー補佐

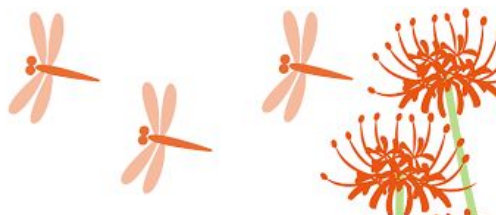
第9グループガバナー補佐辻村栄蔵です。本日のクラブ協議会不慣れですが、宜しくお願いいたします。

■柳龍一郎さん 辻村ガバナー補佐、本日はありがとうございます。よろしくお祈りいたします。

■山田孝二さん 辻村ガバナー補佐、本日はよろしくお願いします。

■島田靖彦さん辻村ガバナー補佐のご来訪を祝して。御指導よろしくお祈りいたします。

■江上徹也さん 辻村補佐の御来訪を歓迎して！2年前同じ立場でコロナ禍の中を各クラブ訪問を苦労した事を思い出します。御自愛の上、御活躍ください。



◆辻村ガバナー補佐訪問クラブ協議会



辻村ガバナー補佐所感

今日は、長崎西ロータリークラブで、本年度の具体的な活動計画について、柳会長をはじめ各委員長からお聞きしました。(1)柳会長の重要方針としてまとめますと、次のようになるのではないかと思います。①若い会員に近く40周年を迎える当クラブの歴史を『想像』して頂き、全会員の力で未来を『創造』して行きたいと考えられ、戦略的な視野に立って、将来の後継者育成にも取り組み、会員同士の強い繋がりを念頭に、きめ細かに各委員会活動の運営に、反映させようという意思を感じました。②奉仕活動や会員増強については、コロナ禍で多くのクラブが直面していることですが、長崎西ロータリークラブにおいても、長年お付き合いされていた方々との面談や、卓話が見送りとなるなど、活動が希薄になっている事を踏まえて、活動の再構築のために積極的にコミュニケーションを図ることや、単年度制の奉仕活動のデメリット克服にも、力を入れる決意を示されていました。③今日は柳会長をはじめ、皆さまから活動方針をお聞きしまして、長崎西ロータリークラブ活動についての熱意を感じる事が出来ました最後に、まだまだコロナ禍ではありますが、コロナ感染に十分注意されながら、クラブ活動の方をよろしくお祈りいたします。有り難うございました。



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	8/30	17,000円	累計	181,538円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	8/30	3,000円	累計	47,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	8/30	1,000円	累計	35,000円

◆会長 柳 龍一郎 幹事 山田孝二 ◆創立：昭和 59 年 10 月 2 日 ◆事務局住所：長崎市東古川町 4 - 16 フジビル 202
 ◆事務局連絡先：Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520 ◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp
 ◆例会：【火】12時30分～13時30分 ◆例会場：ホテルニュー長崎 Tel:095-826-8000
 ◆作成：公共イメージプロジェクト委員会/クラブ会報委員会 ◆委員長：山崎雅之 ◆編集：事務局 中田久美子